

ライブラリー

2009. 8

(平成21年8月20日発行)

福崎町立図書館 としょかんだより No.25

福崎町西治360-1 TEL. 0790-22-3790
http://www.library.town.fukusaki.hyogo.jp/

人の生き様の物語 —ただいま人気の時代小説

読んだことがないという方も、TVドラマや映画の原作などで案外身近な時代小説。歴史や当時の世相・風俗と共に、いきいきとした人間模様が描かれることが多く、図書館でも人気が高いジャンルです。今回は2009年上半期の貸出回数が多い時代小説を中心に紹介します。



時代小説と言っても捕物、剣豪物、市井物、伝奇物、股旅物…などさらに細かいジャンルに分かれているのよ。



✂ 「おはぐろとんぼ—江戸人情堀物語」 宇江佐 真理
(実業之日本社 2009/Fウエ) 【貸出回数ランキング1位】

堀を舞台に、幸せを求め、つましくも懸命に暮らす人々を鮮やかに描き出す短編集。単行本時代小説では、2009年上半期の貸出回数が最も多かった作品です。

✂ 「しゃばけ」 畠中 恵
(新潮社 2001/Fハダ)

若だんなど仲間の妖怪たちが活躍する大江戸人情捕物帖。シリーズ化、ドラマ化もされ、時代小説初心者にも入りやすい作品です。「しゃばけ読本」も併せてどうぞ。

✂ 「晋平の矢立」 山本 一カ
(実業之日本社 2009/Fヤマ) 【貸出回数ランキング2位】

江戸尾張町が大火に見舞われ、焼け残った土蔵の取壊しを名人・伊豆晋平が請負う。所蔵品にまつわる因縁・人情話。

✂ 「龍天の門」 佐伯 泰英
(双葉社 2003/BFサエ) 【文庫貸出回数ランキング1位】

今最も勢いのある佐伯泰英。多くの著作の中でも図書館での一番人気は「居眠り磐音江戸双紙」シリーズ。本作品は貸出回数の多かったシリーズ五作目になります。

✂ 「秘剣・柳生連也斎」 五味 康祐
(新潮社 2003/BFゴミ)

芥川賞を受賞した「喪神」、ラストシーンが映像のような美しさの「桜を斬る」を含む、剣豪ブームを巻き起こした五味康祐の短編集。

✂ 「吉原御免状」 隆慶 一郎
(新潮社 1989/BFリュ)

宮本武蔵に育てられた松永誠一郎は、遺言に従い江戸・吉原に赴くが、そこで尋常でない殺気を感じとる。奔放な想像力を駆使した、力強い文体に引き込まれる作品。

図書館カレンダー

※ は休館日です。

9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
			えほんの じかん 11:00~	資料整理日		おたのしみ 会 14:00~
6	7	8	9	10	11	12
					キャンドル ナイト 夕刻~	
13	14	15	16	17	18	19
						おはなし会11:00~ 映画会14:00~
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			
						応援隊 フェスタ 10:00~

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				資料整理日		
4	5	6	7	8	9	10
			えほんの じかん 11:00~			
11	12	13	14	15	16	17
						おはなし会11:00~ 富安陽子さん講演会
18	19	20	21	22	23	24
				ストーリー テリング 講座		映画会 14:00~
25	26	27	28	29	30	31

秋の
行事

秋のとしょかんは楽しいぎょうじがいっぱい！
みんなで遊びにきてね！



応援隊フェスタ

9月27日(日) 10:00~15:00

- ・南京玉すだれと皿回しショー
- ・バザー(手作り品・リサイクル品)
- ・模擬店(わたあめ・ポップコーン)
- ・おはなし会・えほんのじかん
- ・紙しばい・かたりべ
- ・点字体験コーナー・布絵本展示
- ・喫茶コーナー(談話室)

秋の楽しい休日を図書館で！！

キャンドルナイト

9月11日(金) 夕刻から点灯
ミニコンサート 19:00~20:00

まるやま ひろゆき
圓山 裕幸さん

初秋の夕べを彩る光と音楽をどうぞ。
エコろうそくで地球環境を考えます。

富安 陽子さん講演会

10月17日(土) メディアルーム

「まゆとおに」「やまんばあさん」他
多くの著作で知られる児童文学作家・富安陽子さんをお迎えします。

※詳細は追ってお知らせします。

としょかん
ギャラリー案内

★~8月30日(日)

いぶきよしろう
・伊吹佳三さん

タペストリー作品展

・福崎高等学校生物部
研究発表展示

★9月4日(金)

~9月30日(水)

・鈴木みゆきさん

みやこ染め作品展

こどもの本

9がつ21にちはけいろうのみ！ひといちばいP7ーあみれる

げんきなおじいちゃん&おばあちゃんの本

あつめました！



えほん



「しにがみとおばあさん」

(鎌田暢子 文・絵)

ひとりぼっちのおばあさんが「もうしんでしまいたい」とさけぶと、そこにあらわれたのは しにがみ！

3・4年~



「いたずらおばあさん」

「とんでろじいちゃん」

(山中恒 作/堀田あきお 絵)

おじいちゃんがボケたらしいというけどじつはじいちゃんにはとんでもない力が...



「やまんばあさんの大運動会」

(富安陽子 作/太島妙子 絵)

オリンピック選手より元気で、プロレスラーより力もちのやまんばあさんが町の運動会で大かつやく。

3・4年~



「とんでろじいちゃん」

3・4年~

「いいからいいから」

(長谷川義史 作)

ある日かみなりさまのおやこがぼくのいえにやってきた！そこでおじいちゃんは...



えほん

「いたずらおばあさん」

(たかどのほうこ 作)

エラババ先生は、1まいきると、1さい若がえるふしぎなふくで、8さいの女の子にへんしん！

ニュースの書棚



2009年上半期、第141回の芥川賞に磯崎憲一郎「終の住処」、直木賞は北村薫「鷲と雪」に決定しました。さてその芥川賞・直木賞ですが、芥川龍之介と対照的に、直木三十五についてはあまり知られていないようです。大正後期から昭和初期に活躍した大衆作家で、没後、生前親交の深かった菊池寛が直木賞を設立しました。「植村の、植を、二分して、直木、この時、三十一歳なりし故、直木三十一と称し、その後35歳まで年と共に筆名も成長していったというユニークな小自伝が残されています。



〔参考〕「直木三十五伝」植村 鞆音 者
小心にして傲岸、寡黙にして雄弁、稀代の浪費家で借金王、女好きのプランメイカー、直木三十五。直木賞創設70周年記念出版。

● 図書館からお知らせ ●

絵本の並んでいる場所が一部かわりました

シリーズ絵本(茶色丸シール)の棚と、著者別絵本(青丸シール)の棚へ、一部の絵本を移動しました。

シリーズ絵本: シリーズものの絵本

著者別絵本: 著作の多い作家別にまとめた絵本

お探しの本が見つからないときは、お気軽にカウンターにておたずねください。

図書館よりおねがい

館内では談話室を除き飲食禁止です。特に飴やガムを食べたり、飲料の入ったペットボトル類を手を持ちたりしたまま図書館内に入らないようご協力お願いいたします。

